



今期最終の本号になります。区政の実態を報告します



<http://ooba.muse.bindsite.jp/>

第61号 2019年4月

保坂区長の財政感覚を疑う! 「財政の黒字化」は“瞬間芸”だった だから、いま「行革の徹底」が必要!!

●右下の「隠せば別の場所？」で区長が宣伝している本には、「区の財政赤字を22年ぶりに黒字にしました。私が社民党出身だから放漫財政をしているのではないかと疑うかも知れませんが、財政健全化をした事実を見て欲しい」(要約)と堂々と書いてあります
●その半年後に区役所の財政部門が出したのが下のグラフを含む計画書。内容は今後は大変な赤字財政で危機!

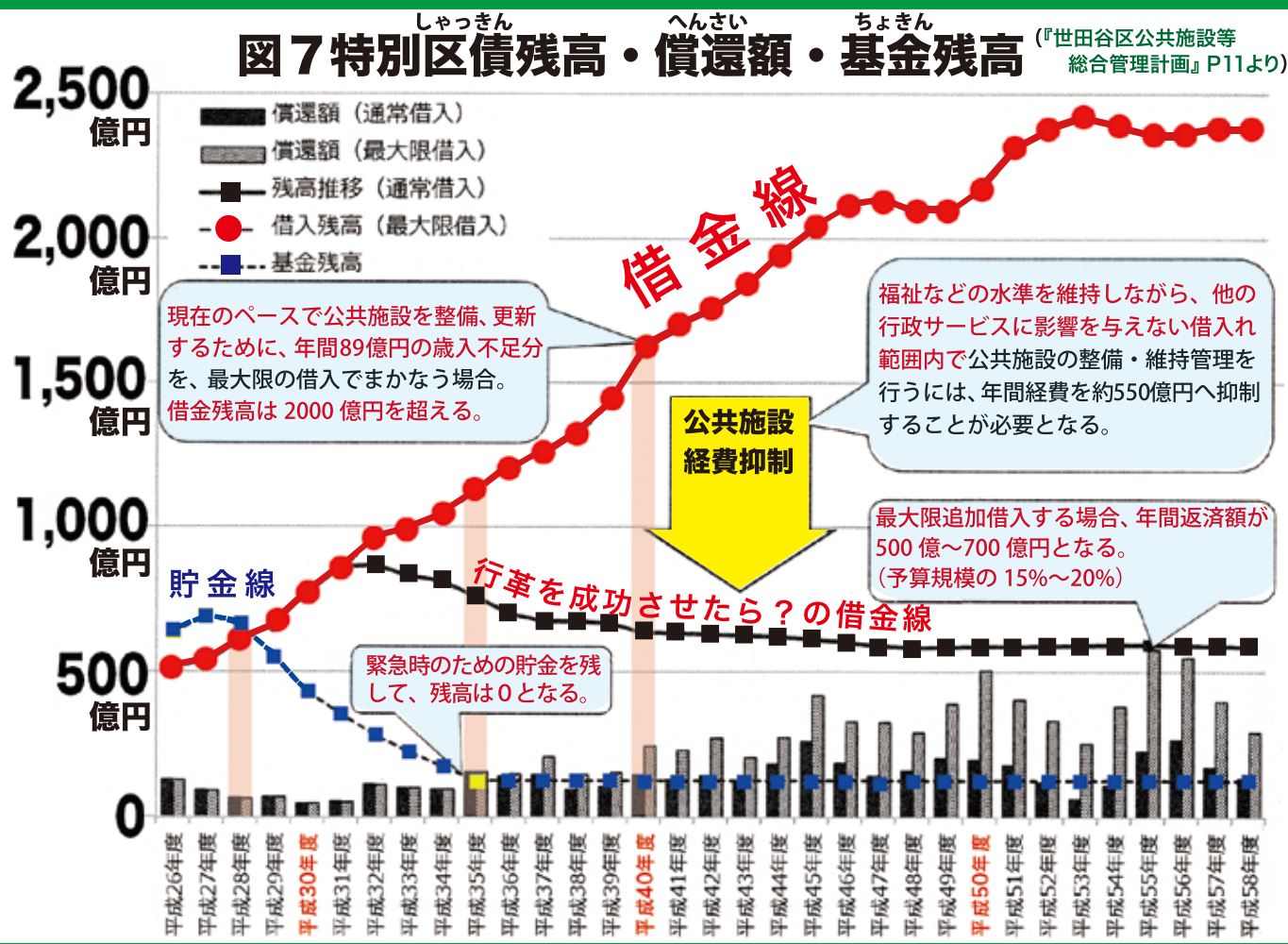


保坂区長の行革無策が続けば... **10年後、区の借金は現在の3倍、1500億円に!**

2年前2月世田谷区政策経営部が公表

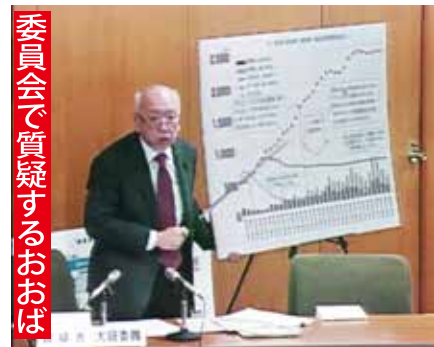
公表後 行革、何もやっていない保坂区長

図7 特別区債残高・償還額・基金残高 (『世田谷区公共施設等総合管理計画』P11より)



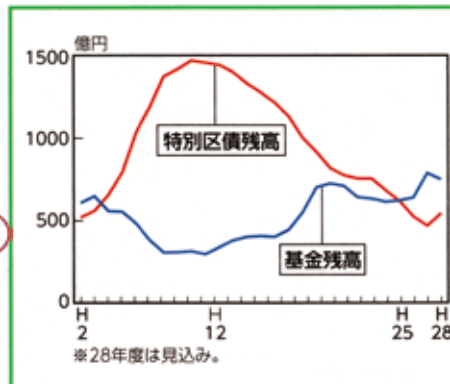
保坂区長の財政感とは

●左図は2017年2月に区役所の財政の責任部署・政策経営部が公表した世田谷区の今後30年を見通した**借金**と**貯金**と毎年の**返済額**の一覧表です●簡単に言えば**住宅ローン返済計画表**のようなものです●吹き出しの説明も区役所の説明です! (内容は、このままでは財政破綻になること示唆し、保坂区長に決断を迫っている)●言わんとすることは、図の中央の**黄色部分**「公共施設経費抑制」をしなければ福祉は維持できない! というもの。



「区のおしらせ」に載った保坂区長のグラフ

これって区長の業績?



世田谷区長 保坂 展人

これが問題のグラフ ●上は2017年(平成28年)4月15日号の「区のおしらせ」に掲載された保坂区長のコラム。その最後に載せられていたのがこの「22年ぶりに**借金**(赤線)を**貯金**(青線)が上回った」ことを示すグラフ●しかしこのグラフは平成28年度までしかありません●続きは最上掲のグラフで区の財政部門が作成しています。平成58年度まで示しています●見ての通り保坂区長は知っていました。再び**借金**(赤線)が上回って逆転することを! それでも財政健全化を成功させたと見せたかったのでしょうか?

「隠せば別の場所?」という安直な解決!

自著の宣伝をしている場合でしょうか?



幕引きで解決?



●そういう考え方なののでしょうか? それとも政治信条なののでしょうか? ●上は2016年10月保坂区長が自分の新著を宣伝し、買って下さいと呼びかけるYouTube動画●問題は場所が区長室ということ。いくらなんでも区長室での「営業行為」は問題●私たちが指摘すると、今度は右の画面に変換!

●まるで漫画のようですが、**同じ区長室で幕を張って後ろが見えないようにただで再編集**●こういう所に問題の本質が見えていないというか、何にもわかっていないのでは?と思わせるのが保坂区長なのです●そんないい加減な対応がいつまでも許されるわけではありません。区民は気づきます!